

# 松山東雲女子大学 学則

## 第6章 卒業要件等

### (卒業の要件)

第27条 本学を卒業するためには、学生は4年以上在学し、別表1に定める所要単位を修得しなければならない。

### (卒業の認定)

第28条 前条の要件を満たした学生には、教授会の議を経て、学長が卒業を認定する。

### (学位の授与)

第29条 本学を卒業した者に学士（人文科学）の学位を授与する。

別表1の(1) 共通カリキュラム

領域	授業科目	単位数 必選	卒業要件単位
A 知の基礎	キリスト教学	2	
	哲学	2	
	倫理学	2	
	文学	2	
	地理学	2	
	文化人類学	2	
	心理学入門	2	
	法学	2	
	日本国憲法	2	
	経済学	2	
B 社会と共に学ぶ	ジェンダー論	2	
	AIとデータサイエンス	2	
C ライフデザイン	まつやま学	2	
	正岡子規と伊予の文化	2	
	茶道の文化	2	
	ボランティア論	2	
	社会起業論	2	
	生活の美術	2	
	大学コンソーシアム共通科目Ⅰ	2	
	大学コンソーシアム共通科目Ⅱ	2	
	インディペンデント・スタディ	2	
	現代社会とライフデザイン	2	
D 伝え合う力	女性とライフプランニング	2	
	フィジカルマネジメントと健康	2	
	ライフサイクルと健康	2	
	栄養と食生活	2	
	現代のメンタルヘルス	2	
	生涯スポーツⅠ	2	
	生涯スポーツⅡ	2	
	体育講義	1	
	体育実技	1	
	レクリエーション概論	2	
E 思考・判断・表現	レクリエーション実技	1	
	レクリエーション指導実習	1	
	英語Ⅰ ※1	2	
	英語Ⅱ ※1	2	
	観光英語	2	
	資格英語	2	
	フランス語 ※1	2	
	ドイツ語 ※1	2	
	中国語 ※1	2	
	韓国・朝鮮語 ※1	2	
合計		6	92
24 単位以上			24

※1 C群の領域の※は子ども専攻のみ、D群の領域の※1はその言語を母国語としない学生のみ、履修登録できる科目を示す。

※2 D群の※2は地域イノベーション専攻のみ必修科目とする。

別表1の(2) 心理子ども学科子ども専攻 専門教育科目

領域	授業科目	単位数 必選	卒業要件単位
A 知識・理解・技能	心理学概論	2	
	心理学	2	
	教育心理学（保育の心理学）	2	
	発達心理学	2	
	子ども家庭支援の心理学	2	
	臨床心理学概論	2	
	保育原理	2	
	教育原論	2	
	幼児と健康	1	
	健康の指導法Ⅰ	1	
B 思考・判断・表現	健康の指導法Ⅱ	1	
	幼児と人間関係	1	
	人間関係の指導法Ⅰ	1	
	人間関係の指導法Ⅱ	1	
	幼児と環境	1	
	環境の指導法Ⅰ	1	
	環境の指導法Ⅱ	1	
	幼児と言葉	1	
	言葉の指導法Ⅰ	1	
	言葉の指導法Ⅱ	1	
C 関心・意欲・態度	幼児と音楽表現	1	
	幼児と造形表現	1	
	表現の指導法Ⅰ	1	
	表現の指導法Ⅱ	1	
	保育内容総論	1	
	保育カリキュラム論	2	
	子どもの保健	2	
	子どもの健康と安全	1	
	小児看護学	1	
	子どもの食と栄養	2	
D ゼミナール	子どもの食とアレルギー	1	
	幼児教育の方法	2	
	乳児保育Ⅰ	2	
	乳児保育Ⅱ	1	
	精神保健学	2	
	特別支援教育	2	
	社会的養護Ⅰ	2	
	社会的養護Ⅱ	1	
	幼児理解の理論と方法	1	
	子育て支援	1	
合計		12	154
卒業要件単位数			100
			124単位

※3 自由単位（62単位）は、共通カリキュラム、子ども専攻専門教育科目、社会福祉専攻専門教育科目、地域イノベーション専攻専門教育科目、特別開講科目、分析技法に関する科目から履修する。ただし、他の大学又は短期大学において履修し、本学で認定した単位は、自由単位に含めることができる。

別表1の(3) 心理子ども学科社会福祉専攻 専門教育科目

領域	授業科目	単位数		卒業要件単位
		必	選	
知識・理解・技能	心理学概論	2		10単位以上
	発達心理学	2		
	心理学	2		
	臨床心理学概論	2		
	精神保健学	2		
	カウンセリング演習	2		
	社会福祉学概論I	2		
	社会福祉学概論II	2		
	医学概論	2		
	保健医療サービス論	2		
	社会学概論	2		
	社会保障論I	2		
	社会保障論II	2		
	ソーシャルワーク演習I	2		
	ソーシャルワーク演習II	2		
	ソーシャルワーク演習III	2		
	ソーシャルワーク演習IV	2		
	ソーシャルワーク演習V	2		
	スクールソーシャルワーク演習	1		
思考・判断・表現	教育原論	2		(※4)自由単位62単位以上
	国際福祉	1		
	災害福祉	1		
	子ども英語	2		
	子ども英語実践	2		
	English Conversation	2		
	Ready for Speech	2		
	統計学I	2		
	統計学II	2		
	統計学III	2		
	しおのめ子ども学	1		
	地域社会学	2		
	子ども家庭福祉	2		
	高齢者福祉論	2		
	障害者福祉論	2		
	公的扶助論	2		
	権利擁護・成年後見制度論	2		
	更生保護制度論	2		
	社会福祉運営管理論	2		
	社会福祉調査論	2		
関心・意欲・態度	社会調査法	2		8単位以上
	質的調査の手法と質的データの分析	2		
	教育社会学	2		
	生命倫理	2		
	死生論	2		
	SDGsとグローバル社会	2		
	メディア社会論	2		
	生きることの探究	2		
	地域福祉論I	2		
	地域福祉論II	2		
	ソーシャルワーク論I	2		
	ソーシャルワーク論II	2		
	ソーシャルワーク論III	2		
	ソーシャルワーク論IV	2		
	ソーシャルワーク論V	2		
	ソーシャルワーク論VI	2		
	ソーシャルワーク実習指導I	2		
	ソーシャルワーク実習指導II	2		
	ソーシャルワーク実習指導III	2		
ゼミナール	ソーシャルワーク実習I	2		10単位
	ソーシャルワーク実習II	4		
	スクールソーシャルワーク論	2		
	スクールソーシャルワーク実習指導	1		
	スクールソーシャルワーク実習	2		
	多文化コミュニケーション	2		
	キャリア論I	2		
	キャリア論II	2		
	インターンシップ研修	3		
	社会教育実践	1		
ゼミナール	メディアとしての絵本I	2		124単位
	メディアとしての絵本II	2		
	愛媛のことばと文化	2		
	学びの基礎I	1		
	学びの基礎II	1		
	心理子ども基礎演習I	1		
	心理子ども基礎演習II	1		
	心理子ども演習	2		
	卒業研究	4		
	計	11	138	
卒業要件単位数		100		

※4 自由単位(62単位)は、共通カリキュラム、子ども専攻専門教育科目、社会福祉専攻専門教育科目、地域イノベーション専攻専門教育科目、特別開講科目、分析技法に関する科目から履修する。ただし、他の大学又は短期大学において履修し、本学で認定した単位は、自由単位に含めることができる。

別表1の(4)

領域	授業科目	単位数		卒業要件単位
		必	選	
心理・コミュニケーション	心理学概論	2		10単位以上
	発達心理学	2		
	精神保健学	2		
	多文化コミュニケーション	2		
	コミュニケーション演習	2		
	キャリア論I	2		
	キャリア論II	2		
	ホスピタリティ論	2		
	リーダーシップ論	2		
	ファシリテーション演習	2		
	多文化ビジネスコミュニケーション	2		
	生きることの探究	2		
	愛媛のことばと文化	2		
	食とデジタルデザイン	1		
	メディアとしての絵本I	2		
	メディアとしての絵本II	2		
	子ども英語	2		
	子ども英語実践	2		
	English Conversation	2		
	Ready for Speech	2		
社会	社会教育実践	1		(※5)自由単位66単位以上
	インターネットシップ研修	3		
	地域イノベーション特別演習	2		
	しおのめ子ども学	1		
	社会学概論	2		
	社会福祉入門	1		
	社会調査の基礎	2		
	地域社会学	2		
	地域経済論	2		
	統計学I	2		
	統計学II	2		
	命倫	2		
	死生論	2		
	メディア社会論	2		
	SDGsとグローバル社会	2		
	生産と消費の人間学	2		
	調査・統計でみる現代社会	2		
	社会問題の社会学	2		
	地域福祉論I	2		
	社会福祉運営管理論	2		
会	国際福祉	1		10単位以上
	災害福祉	1		
	ソーシャルワーク演習I	2		
	社会調査法	2		
	質的調査の手法と質的データの分析	2		
	統計学III	2		
	経済学演習	2		
	社会調査演習I	2		
	社会調査演習II	2		
	経営学総論	2		
	観光ビジネス論	2		
	簿記・会計	2		
	簿記演習	2		
	ファイナンシャル・プランニング演習	2		
	コンピュータ会計実務	1		
	企業分析演習	2		
	マーケティング基礎	2		
	マーケティングリサーチ	2		
ビジネス	広告論	2		4単位以上
	マーケティング応用	2		
	サービスマネジメント	2		
	ビジネスデザイン演習	2		
	学びの基礎I	1		
	学びの基礎II	1		
	心理子ども基礎演習I	1		
	心理子ども基礎演習II	1		
	心理子ども演習	2		
	卒業研究	4		
計		11	117	100
卒業要件単位数		124単位		

※5 自由単位(66単位)は、共通カリキュラム、子ども専攻専門教育科目、社会福祉専攻専門教育科目、地域イノベーション専攻専門教育科目、特別開講科目、分析技法に関する科目から履修する。ただし、他の大学又は短期大学において履修し、本学で認定した単位は、自由単位に含めることができる。

別表1の(5) 特別開講科目

授業科目	単位数
心理子ども特講Ⅰ	2
心理子ども特講Ⅱ	2
心理子ども特講Ⅲ	2
心理子ども特別演習	2
心理子ども講読	2
計	10

別表1の(6) 分析技法に関する科目

授業科目	単位数
データリテラシー	2
情報倫理	1
データサイエンス入門	2
プログラミング演習Ⅰ	2
プログラミング演習Ⅱ	2
基礎統計学	2
応用統計学	2
データベース概論	2
データサイエンス入門演習	2
情報処理概論	2
情報処理演習	2
マルチメディア演習	2
計	23

別表2 学納金等

	1年次	2年次	3年次	4年次以降
授業料(年額)		700,000円		
施設・設備費(年額)		250,000円		
教育充実費(年額)		20,000円		
入学金		250,000円		
入学検定料		30,000円		
一般入試併願制度利用者の入学検定料		40,000円		
大学入学共通テスト利用者の入学検定料		15,000円		
大学入学共通テスト利用入試併願制度利用者の入学検定料		25,000円		

## 2. 松山東雲女子大学 履修規程

### 第1章 総則

(根拠)

第1条 学則第21条2項に基づき、この規程を定める。

第2条 学生が、本学人文科学部の課程を履修し卒業するためには、学則に定めるほか、この規程に規定するところに従い課程を修了しなければならない。

### 第2章 履修科目的登録

(履修科目的登録)

第3条 学生は学期のはじめ、指定の登録日までに履修科目を登録しなければならない。履修する科目的選択は教育課程表に示す履修順序に従って行うことを原則とする。

第4条 登録日以後の登録及びその変更もしくは取り消しは認めない。

ただし、正当と認められた場合についてはその限りではない。

(履修科目的登録の上限)

第5条 卒業の要件として修得すべき単位数について、1年間に履修科目として登録することができる単位数の上限は、集中講義、学外実習指導、学外実習及び他の大学又は短期大学における授業科目的履修の単位を除き49単位とする。ただし、累積GPA値が一定の基準値以上である場合又は卒業年次の学生においては、上限を超えて登録を認めることがある。

2. 編入学生には前項の規定は適用しない。

### 第3章 履修方法

(共通カリキュラム)

第6条 本学人文科学部の共通カリキュラムの履修方法は次のとおりとする。

- (1) 子ども専攻、社会福祉専攻は、「キリスト教学」・「AIとデータサイエンス」・「現代社会とライフデザイン」、地域イノベーション専攻は、「キリスト教学」・「AIとデータサイエンス」・「現代社会とライフデザイン」・「情報リテラシー」を必修科目とし、A群からD群の領域から24単位以上修得しなければならない。
- (2) D群の「英語I」・「英語II」・「フランス語」・「ドイツ語」・「中国語」・「韓国・朝鮮語」・「日本語」は、その言語を母語としない学生のみ履修することができる。

(心理子ども学科子ども専攻 専門教育科目)

第7条 本学人文科学部心理子ども学科子ども専攻の専門教育科目的履修方法は次のとおりとする。

「知識・理解・技能」の領域から14単位以上、「思考・判断・表現」の領域から6単位以上、「関心・意欲・態度」の領域から2単位の必修科目を含む8単位以上、「ゼミナール」の領域から必修科目10単位を修得し、かつ、自由単位として、共通カリキュラム、子ども専攻専門教育科目、社会福祉専攻専門教育科目、地域イノベーション専攻専門教育科目、特別開講科目、分析技法に関する科目から62単位以上修得しなければならない。

ただし、他の大学又は短期大学において履修し、本学で認定した単位は、自由単位に含めることができる。

(心理子ども学科社会福祉専攻 専門教育科目)

第8条 本学人文科学部心理子ども学科社会福祉専攻の専門教育科目の履修方法は次のとおりとする。

「知識・理解・技能」の領域から10単位以上、「思考・判断・表現」の領域から1単位の必修科目を含む10単位以上、「関心・意欲・態度」の領域から8単位以上、「ゼミナール」の領域から必修科目10単位を修得し、かつ、自由単位として、共通カリキュラム、子ども専攻専門教育科目、社会福祉専攻専門教育科目、地域イノベーション専攻専門教育科目、特別開講科目、分析技法に関する科目から62単位以上修得しなければならない。

ただし、他の大学又は短期大学において履修し、本学で認定した単位は、自由単位に含めることができる。

(心理子ども学科地域イノベーション専攻 専門教育科目)

第9条 本学人文科学部心理子ども学科地域イノベーション専攻の専門教育科目の履修方法は次のとおりとする。

「心理・コミュニケーション」の領域から10単位以上、「社会」の領域から1単位の必修科目を含む10単位以上、「ビジネス」の領域から4単位以上、「ゼミナール」の領域から必修科目10単位を修得し、かつ、自由単位として、共通カリキュラム、子ども専攻専門教育科目、社会福祉専攻専門教育科目、地域イノベーション専攻専門教育科目、特別開講科目、分析技法に関する科目から66単位以上修得しなければならない。なお、分析技法に関する科目については、必修科目4単位を含む6単位以上を修得しなければならない。

ただし、他の大学又は短期大学において履修し、本学で認定した単位は、自由単位に含めることができる。

第10条 取得できる免許状・資格等は次のとおりとし、履修等に関する詳細は別に定める。

- (1) 幼稚園教諭一種免許状
- (2) 保育士資格証明書
- (3) 社会福祉士国家試験受験資格
- (4) 社会福祉主任用資格単位修得証明書
- (5) 生活相談主任用資格単位修得証明書
- (6) 児童指導主任用資格単位修得証明書
- (7) 家庭相談主任用資格単位修得証明書
- (8) ピアヘルパー資格
- (9) レクリエーション・インストラクター資格
- (10) 社会調査士資格
- (11) スクールソーシャルワーク教育課程修了証
- (12) 認定絵本士

ただし、幼稚園教諭一種免許状及び保育士資格証明書は、人文科学部心理子ども学科子ども専攻のみ取得することができる。

社会福祉士国家試験受験資格、家庭相談員任用資格単位修得証明書、ピアヘルパー資格は人文科学部心理子ども学科子ども専攻及び社会福祉専攻のみ取得することができる。

児童指導員任用資格単位修得証明書は、人文科学部心理子ども学科社会福祉専攻又は子ども専攻のうち幼稚園教諭一種免許状を取得した者のみ取得することができる。

社会調査士資格は、人文科学部心理子ども学科社会福祉専攻及び地域イノベーション専攻のみ取得することができる。

スクールソーシャルワーク教育課程修了証は、人文科学部心理子ども学科社会福祉専攻のみ取得することができる。

#### (再履修)

第11条 授業科目を再履修する場合は、次学期以降の開講時間割に従って履修することを原則とする。

#### (再履修の制限)

第12条 試験の結果、合格点を得た授業科目を再履修することはできない。

#### 附 則

1. この規程は、1992年 4月 1日から施行する。

— 中 略 —

27. この規程は、2025年 4月 1日から施行する。